

# 新門さまご結婚



(写真：本願寺新報提供)



発行 和歌山教区基幹運動推進委員会  
編集 教区報編集委員会  
和歌山市鷺森1番地  
鷺森別院内  
電話 和歌山(073)422-4677  
FAX 和歌山(073)428-2450  
発行人 水上義乗

## 掲載記事を募集します

各組、各寺院で開催された行事や活動等、教区報に掲載して欲しいというものががあれば、どしどし教区報編集委員会まで寄稿ください。また、事前にご連絡いただければ、取材に伺います。

昨年十月二十日にご婚約された大谷光淳新門さまと古川流豆美さまのご婚儀が三月二十五日にめでたく行われた。

式は、零時半より総御堂で行われ、司婚は光真ご門主。参列者はご親族の他、来賓、宗派関係者、門信徒ら総勢七百人が集まり、お二人の新しい門出を祝った。

婚儀後の記者会見で、新門さまは、多くの人々が参列したことを喜ばれ、今後の宗門発展の抱負を語られた。

また、午後二時からは、披露宴が国宝の書院鴻の間で開かれた。総長の祝詞に続いて来賓の祝辞、乾杯で始まり、招待された宗門関係者ら約三百人が列席し行われた。なお、和歌山教区からは佐々木孝昭前教務所長をはじめ日高別院輪番、宗会議員、教区会議長・副議長、組長会長、北畠利親勧学、根来周泰監正局長が出席した。

なら  
なら  
吹いてくる風が  
吹いてくる風が

のいいだに、こんな風が流れ  
ればいいのにネ」と韓国のお  
ともだちが言います。

なんとすがすがしい言葉で  
しよう。  
「わたしの国と、日本の国  
のいいだに、こんな風が流れ  
ればいいのにネ」と韓国のお  
ともだちが言います。

## 鷺森テレホン 法

073—422—0243

おにしさん

24時間いつでもどこからでも3分  
間法話が聞けます。  
(法話は毎月一日・十五日に変わります)

なら  
なら  
吹きかえす風も　さわやか  
吹きかえす風も　さわやか

日本のお隣の国、韓国には  
こんな諺があるそうです。

## 鷺森テレホン



藤範 信彦

(和歌山教区 本願寺派布教使)

吹きかえす風も　さわやか

わたしは、この韓国の諺が  
大好きになつて、だれにでも  
これを教えてあげています。

これはある高校二年生の女  
子生徒の作文です。

毎日お遅夜参りに出かける  
時間帯は、子どもの登校時間  
帯です。子ども達一人ひとり

## 「和顔愛語」 —笑顔と思いやの言葉—

に「おはようございます」と

声をかけていますが、元気よ  
く返事のかえつてくる子ども  
もあります。黙っている子ども  
もあります。しかし何回かし

ているうちに、今度は子ども  
の方から大きな声で「おはよ  
うございます」と挨拶をうけ

る時はうれしいものです。こ  
の子も今日一日元気で勉強し

あるおばあちゃんが、この  
韓国の諺の話を聞いて

「ええ言葉やなあ、ほんと  
うにええ言葉や、それはナマ  
ンダブのお念佛のことやで、

吹きかえす風がさわやかな  
ほんとうによい言葉を聞かし  
てもろうたと、おばあちゃん

が喜んで、お念佛を唱えてい  
ました。

てくれるだろうと、心も晴れ  
ばれとなります。

それにつけても、いつも  
「和顔愛語」(笑顔と思いやり  
の言葉)を常に忘れずにいた  
いものだと心がけています。

如来さまがナマンダブとこの  
私をよんでもくれはるから、こ  
んな因果なばあさんでもナマ  
ンダブとご挨拶せずにほれ  
ん、ナマンダブとお返事さし  
てもらうと如来さまがまた喜  
んで、聞こえたかしとナン  
マンダブとお返事してください

る

宗門基幹運動計画

# 新基幹運動計画が策定される

二十五年ぶりに宗門の基幹運動計画が大きく変わった。計画期間は、二〇〇六年度から前期・後期三年の中間総括を実施しての六年間としており、従来の五年より一年延長された。これは二〇一一年の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けて運動推進をはかつていくものとなっている。

## 基幹運動総合基本計画

### 目標 標

### 基本方針

### 御同朋の社会をめざして

基幹運動は、人びとの苦悩や

※「御同朋の社会」とは、いのちの尊さにめざめる一人ひとりが、それぞれのちがいを尊重し、ともにかがやくことのできる社会です。

### スローガン

### 「ともにいのち かがやく世界へ」

### 重点項目

#### ① 親鸞聖人のみ教えに学び、全員聞法・全員伝道の門信徒会運動を推進しよう。

○男女共同参画をさらに進め、「門信徒と僧侶の課題の共有」をめざす。  
○「御同朋の願いに応える教学（御同朋の教学）の」をめざす。

②過去の過ちと現実を直視し、差別と戦争のない社会をめざして同朋運動を推進しよう。

③いのちの尊厳と平等をもとに、一人ひとりの苦悩に共感できる

広がりのある運動とし、学んだことを行動・実践していくことで、「同朋教団」としてのあるべき姿をめざします。

これまでのスローガン「念佛の声を世界に子や孫に」は、一九八一年より長年親しまれたものであったが、「子や孫に」とは家を基本としている感があるため、一人ひとり個人に向かられるものとして、「ともにいのちかがやく世界へ」と「ともに」と呼びかけることで宗派を越えてすべての人に対して訴えるものとなっている。

差別・被差別の現実からの問いを課題とし、その課題を、み教えをよりどころとして、問い合わせ、語りあうなかで展開されなければなりません。教団の現状を克服するために、

○男女共同参画をさらに進め、「門信徒と僧侶の課題の共有」をめざす。

○「御同朋の願いに応える教学（御同朋の教学）の」をめざす。

この二つの点を重要なポイントとして位置づけ、わかりやすく

現在、寺院をめぐる環境は大きく変化している中につれて、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を迎えるにあたり、教区の一人ひとりが、教団内外の課題に向き合い、より強力に基幹運動に取り組むことが必要となる。

新企画

## 教化団体のページ

日曜学校修了者  
鷺森別院参拝子どものほうおんこう  
子どもの報恩講

毎年12月に報恩講を子どもたちとお勤めします。いのちをみつめ、子どもたちと一緒によろこびを共有する場です。子どもの報恩講は子どもたちの聴聞の場であり、同時に私自身の聴聞の場でもあります。

## 少年連盟行事

じどうねんぶつぼうしだん  
児童念佛奉仕団

毎年7月に一泊二日で児童念佛奉仕団を開催します。京都にある本願寺の清掃奉仕、探索に行きませんか？そこで出逢うたくさんの友だちと一緒になんなことを勉強しましょう。

教区内の日曜学校を修了される皆さんを対象に、毎年鷺森別院にて開催されます。

鷺森別院輪番よりひとりずつ修了証、記念品が手渡されます。記念品は、和歌山教区仏教青年連盟から式章をいただきます。この式章は、日曜学校を修了した後も寺院における活動を続けていただきたいという思いから、二〇〇五年度に新たに作製されたものです。

## 第一回 少年連盟

## 委員長に聞く



海草組  
蓮乗寺住職  
稻垣貴史さん

中学校の数学教諭として二十七年間教鞭をとった後、海草組少年連盟委員になると同時に、教区の少年連盟委員会の委員長に就任されて今年で五年目を迎える。

委員長になるまでは別院に来ることも少なかつたが、「教師を退職するまでは、お寺のことは法務のみをこなしていけば良いと思つていた。しかし、寺は心の拠り所であるべきだと考えた時、教師の時と同様に、やる気を持てばするべき事は山のようにある。すべてをこなすことは出来ていらないが、自分の出来る限りのことをさせていただいてます」と語る。

尚、第一ブロックでは八月二十一日(日)に海草組西方寺でキッズサングを開催する。

最後に「少年連盟の活性化のためにはもっと多くの若者に役員として参加してほしい。また、集まつた子どもたちを少年連盟から仏教青年連盟へどう繋げていくかが問題となっている。そこで、中高生対象の活動を実施してはどうかと考えている」と課題と抱負を語

すれば子どもが来てくれる。たとえ一人でもいい、実践することでご縁を頂くことができる。そうして、未来の浄土真宗を支えてくれる。未来に繋がる少年教化はとても重要だ」

# 寺の雑学

「如来様の指に水かきがある」

彼岸（お淨土）に到るには、厳しい修行が必要とされています。これはさまざまなお聖教に説かれているところです。

覚りを得るために、山あり谷ありの陸路をてくてくと歩き続けなければならない。あるいは

は、広大な海を泳ぎきらないとなりませんとたとえられます。力尽きて倒れたり、溺れたりして到達することは難中の難と説かれます。

如来様はこの広大な海を泳ぎきつた者と言うことだそうです。というのは指の間の水かきがそれを物語っているということです。如来三十二相のひとつで、手足指輪相といいます。一切衆

生を漏らすことなく救うための水かきとお聞かせ頂いていましたが、別の解釈もあるのですね。一生懸命に、それこそ水かきができるほど泳がないと、覚ることもできないということでもあります。覚った者は一切の衆生を救うのだから、漏らさず救うためにある、ということも納得のいく話ですね。

私はきっと途中で溺れてしまいますが、えつそれは愛欲の広海だつて。もう溺れているよ。

奇抜なタイトルに思わず手に取ってしまいそう

になる本。それが今回ご紹介する『仏教力テスト』です。

書名から「仏教の常識クイズ」の類の本と思われ、今さらテストで試されるのはイヤだとそっぽ向く人がいるかもしれません。

気になる一冊  
仏教力テスト  
此經啓助 NHK出版 660円  
生活人新書

著者がいう「仏教力」とは仏教の教えや儀礼について正しく理解する能力のことです。分かりやすく言うと仏教に対してもれくらいあたりがつくか、その目安となるものと考えてよいでしょう。

「ブッダの生涯」「ブッダの教え」「大乗・小乗・密教」「仏教の世界展開」「日本仏教の誕生」「鎌倉新仏教の教え」「現代仏教への変容」「仏教文化の拡がり」の全八章で、各章ごとにテス

ト・解説・まとめの構成となっています。

テストは全部で一六七問。ほとんどが三択問題で、ごくごく基本的な設問ですから本紙の読者には物足りないテストかもしれません。でも、仏教にまつたく縁が無い人にとつては手頃な仏教入門書といえるでしょう。

皆さんもこの本で一度、力試ししてみませんか。



ホームページアドレスは  
<http://www.saginomori.or.jp/>  
※ホームページ・トップページ画像

本願寺鷺森別院・和歌山教区  
務所

本願寺鷺森別院・和歌山教区  
教務所のホームページが開設されました。現代普及しているインターネットという情報の発信、交流の場に、和歌山教区において新たな可能性を見出することができます。

ご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸甚に存じます。

鷺森別院ホームページ開設

# 教区だより

## 2006年3月

- 2日 第2回組織教化推進研修会
- 2日 仏婦役員会
- 3日 対応委員会
- 3日 災害対策委員会
- 4日 勤式講習会(鷺森別院)
- 6日 近畿組長・議長会(和歌山／7日まで)
- 8日 同宗連研修会
- 9日 門総・仏婦念仏奉仕団(本山／10日まで)
- 10日 第3連区職員研修会(大阪)
- 13日 講社近畿ブロック講員研修会(和歌山／14日まで)
- 15日 仏婦清掃奉仕
- 15日 常備会
- 15日 ビハーラ潮光園訪問
- 16日 貴役・門総辞令伝達式
- 17日 冊子委員会
- 19日 仏青研修旅行(比叡山、本願寺)
- 25日 勤式講習会(日高別院)
- 27日 定期教区会
- 27日 布教団研修会
- 27日 寺青研修懇親会
- 28日 教区報編集委員会
- 29日 ビハーラ・社推協公開講座
- 29日 門徒総代会委員会
- 30日 参与会・理事会
- 31日 仏青総会

## 4月

- 10日 二法要広報伝道部会
- 10日 寺婦委員会
- 11日 教区基幹運動推進委員会会長研修会(本山／12日まで)
- 13日 仏婦委員会
- 17日 冊子委員会
- 17日 仏事理事会
- 18日 仏婦総連盟総会(本山／19日まで)
- 19日 和歌山西組御消息披露・記念法座
- 21日 和歌山東組御消息披露・記念法座
- 24日 教区相談員研修会(本山／25日まで)
- 25日 恵信尼さま顕彰「平和の集い」(本山・和歌山教区担当)
- 26日 和歌山組御消息披露・記念法座

## 5月

- 1日 所長・輪番歓送迎会
- 2日 門徒総代会委員会
- 7日 有賀組御消息披露・記念法座
- 8日 伊那組御消息披露・記念法座
- 13日 門徒総代会総会
- 14日 仏事連盟総会
- 15日 寺婦連盟総会
- 16日 仏婦連盟総会
- 20日 海草組御消息披露・記念法座
- 23日 基幹運動推進専從員研修会(本山／24日まで)
- 30日 紀南組御消息披露・記念法座
- 31日 寺婦連盟研修旅行(北九州・山口6月1日まで)

## 6月

- 3日 近畿ブロック保育連盟新任補任式(本山・和歌山教区担当)
- 3日 勤式講習会(鷺森別院)
- 6日 第3ブロック少年連盟指導者研修会(滋賀／7日まで)
- 7日 中央基推委常任委員会(本山)
- 8日 中央基推委中央推進委員会(本山／9日まで)
- 11日 日高組御消息披露・記念法座
- 14日 少年教化アドバイザー研修会(本山／16日まで)
- 15日 近同推総会(本山)
- 17日 勤式講習会(日高別院)
- 24日 加茂組御消息披露・記念法座

## 7月

- 1日 有田南組御消息披露・記念法座
- 1日 和歌山北組御消息披露・記念法座
- 1日 勤式講習会(鷺森別院)
- 5日 海南組御消息披露・記念法座
- 9日 平和を希う念佛者の集い
- 15日 勤式講習会(日高別院)
- 19日 社推協中央研修会(本山／20日まで)
- 24日 児童念佛奉仕団(本山／25日まで)
- 31日 僧侶研修会

## 鷺森別院

### 【常例法座】

毎月十五・十六日  
午後一時半より

### 四月

三明芳信師(奈良教区)

### 六月

佐々木至誠師(備後教区)

### 七月

中野信宏師(奈良教区)

### 【二尊会】

### 五月十三日・十六日

午後一時半より

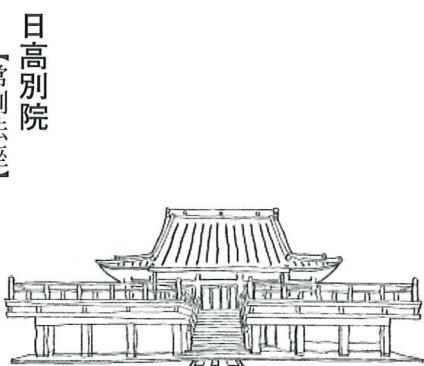
石田慶和師(兵庫教区)

### 【永代経法要】

六月十七日 午後一時半より

佐々木至誠師(備後教区)

## 別院だより



日高別院  
【常例法座】

四月二十日 午後一時半より

久林高伸師(奈良教区)

【降誕会・花まつり・湯川忌】

五月八日午後一時半より

六月二十日 午後一時半より

【永代経法要】  
佐々木至誠(備後教区)

## 第3連区近畿ブロック門徒推進員研修協議会



## 「非戦・平和をテーマに 「戦争・ヤスクニ」問題について活発な討議

去る一月二十八日・二十九日に一泊二日の日程で「第三連区近畿ブロック門徒推進員研修協議会」が和歌山教区担当のもと近畿各教区より一〇八人が参加した。

一日目の記念講演ではジャーナリストの綿井健陽さんが制作したドキュメンタリー映画「リトル・バーズ—イラク戦火の家族たち—」の上映、引き続き講演が行われ撮影時のイラクの状況を話し、「イラク戦争で使用された戦闘機・空母・戦車・ミサイルなどは日本にある米軍基地より送り込まれており、まさに

「ヤスクニ」などは日本にある米軍基地を正当化し、英靈として奉るところには、いのち等しの世界はない。「仏に成る」のか「ヤスクニの神になるのか」という、私にとつての信心の問題である。戦争を正當化して、戦争の実態を厳しく見て、問うことが大切であると締め括った。

日本はイラク戦争の出撃基地になつてはいる。一方この戦争で傷ついたイラク市民の犠牲者たちに医療など様々な面での復興支援をしているのも日本であり、このようないじれ現象が起つていてることを知つてほしい」と訴えた。その後季平博昭中央基幹運動推進相談員より問題提起があり、十班に分かれ非戦・平和について話し合つた。

二日目の全体会では、「開かれお寺にするにはどうすればよいか」「ヤスクニ問題をどう捉えるか」などの活発な意見を出した。最後に季平相談員が、「ヤスクニ」は、私たちにとっての「信心の問題」である。戦争を正當化し、英靈として奉るところには、いのち等しの世界はない。「仏に成る」のか「ヤス

### 教区僧侶研修会 法名の「尼」の問題を中心に研鑽

さる二月二十二日、後期の和歌山教区基幹運動僧侶研修会が四十五人の参加のもと鷺森別院ホールで開催された。講師は、宮本義宣中央基幹運動推進相談員。午前は「法名にかかる課題への取り組み」過去の学びからこれからの方に向けて」と題して講義。午後から、「次期宗門基幹運動総合基本計画」について」と題して講義。続いで、「全体協議会が開かれ、法名について活発な意見が出された。その後、まとめの講義が行

### ビハーラ連続講座を実施 二回にわたりビハーラ連続講座が開催された

■第一回目は二月十三日、鷺森別院会議室において開催され、ビハーラ会員・仏婦会員等三〇名が参加した。講師は、野村康治先生（大阪教区瑞松寺住職・連研中央講師・ビハーラ中央推進委員）で「ビハーラの現状と課題／介護保険制度改革の中でのビハーラ」と題し、ビハーラ活動を実践していく中で、昨今

われた。講義では、まず、法名を名のことは、仏弟子となることの意義であることをしっかりと確認することが大切であると言及。さらに全体協議会では「法名」の「尼」の問題を中心に法名の本来化を考えることに主眼をおき、活発な意見が出された。これは、「尼」に対しても帰敬式規定や法式規範、そして現場の住職では、「尼」の字を付けないという声がある一方で、「住職に一任する」と言つた曖昧な点が多く、本来の法名はどうあるべきかについて考察を行つた。

の社会福祉の現状を確認し、現在、施設の利用者、また、介護を必要とされる方にどのように関わつていけば良いのか等、現場で体験された講師の体験を聞いた。

■第二回は、三月十五日に特別養護老人ホーム・潮光園での実践体験、十二名が参加。第一回の講義をうけ、新会員はもとより、現会員も新たな思いをもち、利用者の方とのふれあいを体験した。

# 第20回恵信尼さま顕彰 ～平和の日の集い～

この近畿地区六教区「恵信尼

さま顕彰・平和の日の集い」は、

一九八六年「第八回世界仏教婦

人大会」で、四月二十五日を恵

信尼さまを顕彰する「平和の日」

と決議されたことに基づいて、

毎年各教区持ち回りで開催して

いる。今年度、和歌山教区仏教

婦人会担当にて開催。

親鸞聖人の「世の中安穏なれ

仏法ひろまれかし」という願い

とともに歩まれた、恵信尼

さまを偲びつ

つ、平和を守る道を歩む取



## 所長・輪番人事

四月一日付人事があり、水上義乘前本廟局部長が和歌山教区教務所長・鷺森別院輪番に就任した。

また、佐々木孝昭前教務所長・輪番は東京教区教務所長・築地別院副輪番に就任した。

## 大谷本廟からのお知らせ

大谷本廟では毎年盂蘭盆会・彼岸会時期に参拝者の駐車場入場待ち車両による交通渋滞が起り、周辺道路の安全な通行を妨げる状態が生じ、所轄警察署からの指導により下記期間に駐車場を閉鎖することになります。

本年は左記日程となつておりますので、ふるつてご参拝くださいますようよろしくお願ひいたします。

五月 十三日（土）門徒総代会

## 各教化団体総会のご案内

毎年鷺森別院の二尊会期間中に各教化団体の総会が開催され

ます。

本年は左記日程となつておりますので、ふるつてご参拝くださいますようよろしくお願ひいたします。

五月 十六日（土）、六日（日）、

孟蘭盆会

記

八月五日（土）、六日（日）、

十二日（土）～十六日（水）

秋季彼岸会

九月十六日（土）～

二十六日（火）

※閉鎖日は約一ヶ月前に確定します。念のため、電話または本

願寺ホームページ

(http://www.hongwanji.or.jp) にてご確認ください。

※足の自由な方は申し出すれば利用可能です。

期間中の大谷本廟へのご参拝は、公共交通機関をご利用いた

だくか、自家用車でお越しの場合は、本願寺北駐車場（聞法会館隣）に駐車のうえ、無料送迎バスをご利用ください。

## 得度

釤貫順 和歌山組 西光寺  
小山亜紀 和歌山東組 妙祐寺  
山本龍法 和歌山北組 净永寺  
吉村公子 海南組 慶証寺  
中西義徳 加茂組 遍照寺  
住職 平成十八年二月一日

## 教師

逝去	藤田良輝	伊那組	明光寺
中谷和子	和歌山西組	正立寺	
住職	平成十八年二月二十二日		
前坊守・衆徒	平成十八年二月二十六日		
今本慎顕	和歌山東組	善教寺	
住職	平成十八年三月五日		

ご生前のご活躍・ご尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。